

令和4年度 技術家庭科 授業改善推進プラン

大田区立六郷中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・プレゼンテーションソフトによる画像や動画の活用で、知識や技能の習得率が高まった。
- ・グループ学習を通して、生徒自ら進んで学習に取り組むような姿勢が多く見られた。

(2) 課題

- ・技術・家庭領域共家庭や地域での生活体験が少ないため、作業における基礎・基本が習得できていない生徒が多くみられる。
- ・与えられたことは取り組むことができるが、作品を自分で工夫したり、作業を効率的に行ったりするような、自ら工夫することは苦手である。

2 過去の成果との比較・分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和4年度	令和3年度	令和2年度
第1学年	生活体験が少ないが意欲的に取り組んでいる。		
第2学年	楽しみながら実習に取り組む姿が多く見られる	授業規律にルーズな面がある（第1学年時）	
第3学年	多くの生徒が意欲的に取り組んでいる。	意欲的に取り組む生徒が多い。（第2学年時）	生活体験・経験が少ない。（第1学年時）

(2) 分析（観点別）

① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
知識を習得する力はある。 生活体験が少ない生徒が多い。	知識をもとに自分で考えて工夫し、創り出すことが苦手。	意欲的に取り組む生徒が多く見られる。

② 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生活体験・経験が少ないが、技能を習得する力は十分にもっている。	作品の完成に重きをおいて、発想の工夫が足りない作品が見受けられる。	1年次と比べて落ち着いて授業を受けるようになってきている。

③ 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
知識を習得する力はある。 生活体験・経験が少ない生徒が多くみられる。	より高いものを目指すための創造や工夫するための経験や知識に乏しい面がある。	真面目に授業を受けようとする姿勢の生徒が多い。

3 授業改善のポイント（観点別）

（1）第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
授業規律の向上を図り、興味関心を高めための教材の研究を行う。	I C T等を通して、より効率的な作業や創造・工夫して作品に取り組ませる。	日常生活でも活用できる教材を工夫し、興味・関心の高揚を図る。

（2）第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
昨年度以上に授業規律の向上を図り、興味関心を高めための教材の研究を行う。	I C Tによる資料提示や体験学習などの工夫の定着を図り作品の質を高めるための研究を行う。	ものづくりを通して生活を豊かにする意欲を高める指導の工夫。

（3）第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
学んだ知識や技術を実生活の中で生かすことができる力を育成する。	I C T等を通して、より効率的な作業や創造・工夫して作品に取り組ませる。	グループ学習を通して主体的に学習に取り組む姿勢を身につける